

香川芳子

女子栄養大学学長



東日本大震災の被災地でも 子どもたちの心と体のケアに 養護教諭が活躍しています

全国の小・中学校や高等学校の学校現場に配置され、子どもたちの心身の健康管理や健康教育の担い手となるのが養護教諭です。子どもたちがかかえる心身の問題をやさしく受け止め、的確に対応できる人材として期待されています。学校現場ではいじめや不登校の問題だけではなく、元気がない、一人で食事をしている、朝食を食べていないなど、食生活にかかわる問題も多く見られます。養護教諭がその問題の解決のきっかけを作り、子どもたちが元気をとり戻すこともあります。この東日本

大震災でも、女子栄養大学の卒業生が現地で、子どもたちの心と体のケアにあたっています。

看護系や教育系の大学などで専門課程を履修し、養護教諭免許を取得するのが普通ですが、本学にも保健栄養学科があり、養護教諭の資格がとれるコースがあります。特長は栄養学のわかる養護教諭です。今春から、条件を満たせば、並行して「食生活指導士」の資格がとれるようにしました。子どもたちのかかえる問題を食生活の面から支える人材を育成しようという深い願いがこめられています。